

## 問 奥四万十博への準備は

## 答 概ね受け入れられる状況



大崎 芳章 議員

大崎

道の駅のサテライトを中心にした各施設の集客の準備や、各地区のイベントの打ち合わせはできているが、まだまだ町民に浸透していないと思うが。

戸田産業建設課長

サテライト会場については未完成で、道の駅や国道沿いには看板を立てる。

4月からは専属の職員を配置し、5市町の要員の講習会で勉強をしていく。

19か所の飲食店・宿泊施設での津野山ビールの提供や、散策コース・川遊び体験・スタンプリー等の計画もしている。

各地域のイベントにはサポートできる部分には協力

## 一般質問

をし、相談・問い合わせにも対応していく。ホームページの観光特設サイトでPRを進めていく。  
町民には町広報誌で周知をし、テレビ・インターネット・ポスター・のぼり等で宣伝をしている。広報やサポーターの募集に努め、商工会を中心に地域住民と協働できる体制を整えていく。



道の駅布施ヶ坂

## 問 役場職員の休暇の取得率は

## 答 今より多く取れるように

大崎

役場職員の年次有給休暇や産休の取得率と、男女の育児休業、それに対する考えは。

池田町長

育児休業は女性職員は勿論、男性職員にも積極的に取得できるように国・県も取り組んでいる。国は平成32年度までに男性の育児休業取得率を13%にする政府目標を設定している。津野町においては男性職員の取得はない。例規集に載せて周知しているが、それを活用できる職場環境の改善を進めていく。

下元総務課長

職員の年休の取得率は平成26年度が8.3日で21・2%、27年度が8.7日で22・1%。県下町村の平均が10日であり、若干低い状況である。国が平成32年の取得率を70%、地方公務員は年間14日を取得する目標であるので、町も取り組んでいく。  
産休の取得は産前6週、産後8週の特別休暇があり、ここ数年は全員取っている。